



柏樹会報

神奈川県立柏陽高等学校同窓会会報

平成24年3月30日発行

発行所：神奈川県立柏陽高等学校 同窓会 柏樹会
神奈川県横浜市栄区柏陽1-1 県立柏陽高等学校内
TEL (045) 892-2105
http://hakujuyu-kai.jp/
印刷所：株式会社サラト http://www.salat.co.jp/



第3号

創立50周年に向けて

柏樹会の皆様におかれましては、益々ご健勝のことと存じます。また、日頃より、本校の教育活動に対するご理解とご支援に感謝申し上げます。さて、柏陽高校は昨年5月6日に45回目の開校記念日を迎えました。この間に本校を巣立った卒業生は14,731名を数えますが、本校の沿革史によれば、1967年4月5日に挙行された第1回入学式では新入生5クラス計200名が柏陽高校1期生として高校生活のスタートを切っています。爾来、幾星霜。当時初々しかったであ



第13代校長
上遠野幸男

ろう1期生も本年めでたく還暦を迎える訳です。その後、1973年にはJR根岸線が全線開通し、本校は本郷台駅から徒歩5分という恵まれた立地条件を得ました。全県一学区となった現在では、交通アクセスの良さから生徒の通学圏は県内全域に広がっています。また、直近の10年間を辿れば、2002年の文部科学省によるSSH（スーパーサイエンスハイスクール）の指定や、2007年の県教育委員会による学力向上進学重点校の指定は、本校の進むべき方向を明確化し、「神奈川県に柏陽あり」をアピールする大きな契機となりました。当然のごとく、柏陽の校舎や各施設も時を刻み、歴史を積み重ねてきました。本校の校舎は、現在、ホームルーム教室や保健室等がある教室棟、理科実験室や教科準備室、職員室等がある新棟、社会科や芸術科がある芸術棟、そして体育館と4つの棟から構成されています。その内、現在の芸術棟は1974年に、新棟・体育館は1993年に、それぞれ完成していますから、

開校当時の面影を残すのは教室棟だけです。その教室棟の完成は1969年です。すでに築40年を超えて老朽化が否めず、今後、大規模な耐震補強工事やトイレ等の改修が計画されています。さて、柏陽高校は4年後の2016年には創立50周年の節目を迎えることとなります。論語に「五十にして天命を知る」とありますが、これを機に本校の使命を再確認し、次のステップへと跳躍・飛翔すべく、これまでの取組を検証しながら新たな体制を整えていかねばならないと考えています。一方で、創立50周年の記念式典や祝賀行事の計画のみならず、今後の柏陽の発展には柏樹会のご協力とご支援が不可欠であることは言うまでもありません。会員皆様のネットワークを活かして50周年に向けた気運を盛り上げ、皆様の総力をもって絶大なるご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

柏陽校歌を合言葉に絆を深めましょう

柏樹会会員の皆様におかれましては、お元気にてご活躍のことと存じます。早いもので、私が会長を務めてから3年が経ちました。その間、役員の方々に支えられて同窓会を何とか運営してこることが出来ました。春は旅立ちの季節です。柏陽高校でも3月に第43期生が卒業し、4月に第46期生が入学します。ところで皆さんは自分の入学した頃のことを覚えていますか。私は4期生として昭和45年4月に入学しましたが、新築したばかり



柏樹会 会長
矢部 博
(第4期生)

の体育館で校歌を練習させられた記憶がありません。何度も何度も練習しました。伴奏が始まればすぐに「ときはの松の緑も茂く」と口ずさんでしまう校歌ですが、昭和42年4月5日に第1回入学式を挙行了した時には、まだありませんでした。校歌が制定されたのは、2年後の昭和44年10月4日のことです。今回、校歌を作詞された柳田光紀先生に直接、当時の思い出をご執筆していただきました。校歌はまさに同窓生の絆をつなぐシンボルです。今後も、柏陽高校の校歌を合言葉に同窓会の絆を深めていきましょう。柏陽高校も2016年には第50回目の入学式を挙行します。いよいよ50周年に向けてカウントダウンが始まります。こうしたすばらしい時期に柏樹会が母校のために何が出来たかを、目下、役員会で検討中です。さしあたり、平成24年度は会員同士の縦のつながりを強化することを計画しています。具体的には、各期の幹事を選んで、50周年記念に向けての準備をしていきたいと思えます。会員のどなたかにお声をかけ

させていただけますので、その節にはご協力くださいますようお願いいたします。また、平成25年には5年ぶりに柏樹会名簿を発行する予定です。個人情報保護法の施行以来、名簿管理はなかなか難しいですが、同窓会という組織をまとめるための重要な事業と考えています。そして、会員同士の連絡を取り合うもう一つの手段としてホームページの活用があります。昨年、柏樹会のホームページをリニューアルしました。同窓の皆様には、是非、新しいホームページを開いていただいて、同期会・クラブOB会等の連絡に利用していただければ幸いです。今回の会報でも、ホームページに掲載された同期会をいくつか取り上げました。今後は、ホームページに同期会・クラブOB会等の連絡があふれて、会報に掲載しきれなくなってしまうことを期待しています。最後になりましたが、会員の皆様のご健勝と今後のご活躍、ならびに、母校柏陽高校のますますの発展を心よりお祈り申し上げます。

校歌の思い出

柳田 光紀

校歌

作詞 柳田 光紀 先生
作曲 長谷川良夫 先生

私の柏陽への赴任は創立三年目の春で、入学式の時、まだ校歌がなかったのは淋しかった。大きな松の木が茂り、広大な青々とした芝生の美しい別天地は、教育環境として最適と思われた。ここからはいい校歌が生まれねばならぬと思った。校長から県教委で校歌の作詞を公募していると、言われ、私はこの良い環境に学ぶ生徒たちのためにいい詩を作つてあげようと応募し、審査の結果採用され、作曲は東京芸術大学の作曲科主任長谷川良夫教授にお願いした。この校歌は日本中のどこで歌われても地理的環境が分かるように作つた。また斉唱では二番を女子のみ、三番を男子のみで合唱すれば美しい効果があると言葉の詞律、音声の韻律に工夫を凝らした。第一回柏陽祭で合唱部により初めて披露され、感激の拍手がいつまでも鳴り止まなかった。

1、ときはの松の 緑も茂く
鎌倉山の 風薫る

われらが行手に 朝日は映えて
うち建てん今ぞ とはなる理想

2、大空冴えて 柏の蔭に
語らひあゆむ 青春の
叡智は輝く いのちの香り
清らなる夢を 胸にいだかん

3、あしたに仰ぐ 学舎の西に
たべの富士の 峰高く
寛げき心を はぐくむ我ら
いそしみ学ばん 古今の教へ

4、歴史も深き 文化の庭に
遠き都の 影しのぶ
ほまれもゆかしき 柏陽高校
真理の極みを ともに求めん
ああ 栄えあれ
わが母校 柏陽
われらの柏陽



卒業生からの一言

●本谷 守 (1期生、元柏樹会会長)

柏陽を卒業して7、8年過ぎていたのか、5期生の竹下義人君からの電話があった。国語科の佐藤繁先生から紹介していただいたとのこと。入学した大学の後輩になったから、一度会ってみるとよいのではないかと、と言われたことを聞きつつ、まだ見ぬ後輩の言葉にとてもうれしく思い、こちらから、竹下君が住む吉祥寺下連雀のアパートに、仕事を終えて出かけた。

竹下君は酒を飲まないということ、紅茶を何杯お代わりしたか、一睡もせず朝まで語り明かしたか、どの様な話をしたのか、12時間以上話しながらも、覚えているのは、「短詩型文に興味があるので、もう少し勉強したい」というようなことだったと思う。

その後お会いしたのは、卒業にあつたのジャズバンドサークルの公演で、オープニングに当時人気のあつたキャンディーズのメドレーが記憶にあるのと、結婚式に呼ばれたこと。それから、会うこともなく30年くらい経つのか、年賀状のお便りでは、大学に勤め文学を続けている様子。

柏陽生は、そろそろ新入生が50期になるとのこと。多くの卒業生が社会に貢献しているかと思うと嬉しくなるとともに、大変ですが寒風にめげず優しい人でいて下さいね。

●伊藤 嘉博 (3期生、元柏樹会会長)

現在、早稲田大学(商学部教授)で教えています。昨年まで公認会計

●青木 盛一 (4期生)

士試験委員も務めていました。定年まではまだ10年以上ありますが、今年ほどイタリヤで過ごす予定です。ところで、最近の大学生を見ると、学業の面はともかくも、精神面で不安を抱えている学生が非常に多いことに驚かされます。就職状況だけでなく生活環境や家族関係も近年は大きく変化してきているだけに、不安は尽きないのかもしれない。大学生活は楽しんでいただけのものでありませぬ。在校生の皆さんも、大学に進学することだけでなく、その先の将来にもぜひ目を向けて高校生活を送つてほしいと望んでいます。

●田中 均 (3期生)

『50周年まであと4年』
大船駅からバスに乗り、通つた母校。米軍の施設を転用した入学時の校舎は一足制でした。グラウンドは石ころが多く、体育の授業は石拾いのほか、腿を擦り剥きながらのラゲビーなどが中心でした。現在の本郷台駅前一带を走る駅伝大会なども懐かしく思い出されます。当時の先生方は若くて熱心で、朝や長期休業中の補習など、よく面倒を見てくださいました。

こうした影響もあって数学の教師になり、平成12年度から始まった県立高校改革推進計画における新校の設置に関わり、教育委員会での仕事をを経て、現在は厚木高校校長を拝命し勤務しています。

柏陽高校も、あと4年で50周年を迎えます。これを節目に、益々発展してほしいと考えています。

●黄川田 仁志 (20期生)

二十期生の黄川田仁志です。現在は自由民主党の次期衆議院選挙立候補予定者として、埼玉県草加市と越谷市で政治活動をおこなっています。柏陽高校時代の友達は、今も大切な宝物です。先日心配してくれて、私の講演会に横浜から越谷まで足を運んでくれました。特に柏陽高校関係者には案内を出していませんでしたが、私のホームページを見て参加してくれたのです。そして、暖かい言葉と的確なアドバイスをくれ

先生方からの一言

「現在の私の心境」

宮本 惇

私は45歳の頃、初代確井校長のもと生活指導担当教師として、勤務していました。当時は教師と生徒の間にトラブルを駆り立てては面白がっている者もあり、佐藤茂先生達と相談しては事の本筋について教師としての体験談を話題にし、彼らと出来るだけ多くのお喋りを交わし、整然とした雰囲気第一期生の卒業式を祝福したいと願っていました。

然し、私はその後、新設校の校長要員として多忙に追われ、皆さんの晴れの姿を見る事は出来ませんでした。最近、幸いにも、森村さん達に卒寿のお祝いを催してもらい、私としては本当にうれしい一時でした。心から感謝しています。

また、これまで腰痛に悩みながら続けてきた絵画、常に平和を願いつつ描いてきた中の一枚の絵が、たった5日間(2012年6月)ですが、大英帝国王室博物館に飾られる事になり、信じられない程うれしいです。でも、本当なんですよ。

「学校を卒業するような感覚」

右近 修治

1989年から11年間、柏陽高校に理科(物理)担当として勤務しました。11年というのは私の教職期間中最も長い年月であり、しかも30代の元気な頃でもあり、部活動と行事、勉強と、何でも一生懸命に取り組む生徒ばかりだったので、柏陽高校の印象は強く心に刻まれている。

最初の印象は旧海軍燃料廠の建物をそのまま利用した管理棟、理科棟の重厚さだった。少しばかりの地震が来てはびくとも揺れなかった。職員室は2部屋に分かれており、朝の



打ち合わせ時には小さな部屋の職員がぞろぞろとやってくる。教科指導が中心、ということで職員室の机は学年ではなく教科ごとに集まっていた。山中映二朗先生、鈴木克利先生、林田良幸先生、菊池武夫先生をはじめとした柏陽草創期からの職員が数多く健在であったこともあり、柏陽のよき伝統をしつかりと感じ取り、受け止めることができた。柏陽を去るときは、自分をこれまで育ててくれた柏陽に対する感謝の気持ちでいっぱいだった。まるで学校を卒業するような感覚だったことを覚えている。

「旧職員からの一言」

田中 一也

私は昭和63年から平成7年までの9年間、保健体育の教諭として勤務しました。

大学を出て新採用として勤務しましたので、今でも柏陽高校の印象は強烈に残っています。9年間の間2度の卒業生を出し、教師としての基本を学んだ思い出深い高校です。

バドミントン部の顧問として生徒が予選に勝ち、関東大会にも出場できたことも楽しい思い出の一つです。そのバドミントン部のOB達には毎年OB会で会っています。私は現在横浜市金沢区にある、釜利谷高校に勤務しています。当時同僚だった枝迫先生が現在も同僚です。柏陽の昔話をたびたびしています。

柏陽高校の様々な活躍を聞くたびに、懐かしい思いと、応援する気持ちがあふれ出てきます。旧職員として柏陽高校のますますのご発展を祈念しております。

ました。そうやって、卒業してから二十三年経ちましたが、高校時代の友達とはいつも励まし合いながら、人生を歩んでいます。毎年ミニ同窓会も開いており、今も昔も変わらない付き合いをしています。「柏陽高校」は思い出ではなく、今も現在進行形です。

●大日方 邦子 (22期生)

昨年8月、スポーツ界に大きな動きがありました。「スポーツ基本法」が施行され、国のスポーツ施策の根幹をなす法律が実に50年ぶりの全面改正となったのです。新法では障害者スポーツに関する規定が明記され、パラリンピック選手にとって希望の光となるものです。新法施行に伴い、現在、新たなスポーツ計画が策定中で、私も現在、大臣から諮問を受けた文部科学省中央教育審議会の部会に委員の一人として関わっています。障害者スポーツ出身者が国のスポーツ施策に加わるのは初めてのことで、スポーツ界での経験豊富な他委員と議論を重ねつつ、障害者スポーツ所轄の厚生労働省とも具体的施策の方向性について、調整を行っています。障害のある人がスポーツを行うことも念頭においた基本計画となるよう奮闘する日々です。

●小泉 洋子 (32期生)

(東京学芸大学教育学部 養護教育専攻4年)

私は以前、総合病院の産婦人科で助産師として勤務していました。命の誕生のお手伝いをさせて頂ける助産師の仕事は、私にとってとてもやり甲斐のある仕事です。助産師として、子どもの成長過程についての知識を深めたいという思いで今の大学へ編入学をしました。大学生活の中でも、教育実習はたくさん刺激や出会いにあふれた貴

重な時間です。

特に、母校である柏陽高校での実習は、私に大切な気持ちを思い出させてくれました。何事にも情熱を持って取り組むことの素晴らしさ、感動する気持ちの尊さ...そういった気持ちを忘れていたつもりはなかったけれど、現役の柏陽生と関わる中でまだまだ自分が頑張れることがたくさんあることに気付かされました。柏陽を卒業して10年以上経ってこのような貴重な経験ができたことに感謝しつつ、現役の柏陽生に負けないうよう、これからも自分自身を磨いていきたいと思っています。

●小山 哲也 (35期生)

『第二の青春』

柏陽高校を卒業して、8年が経とうとしている。ふと高校時代を思い出してみたい。高校時代は部活に明け暮れていた。県で団体戦ベスト8に入った記憶は今でも夢に出てくる。卓球に全てを懸けていた高校時代が、一番熱く、一番の青春だったかもしれない。

先日、母校の修学旅行にJTB横須賀支店教育旅行課の添乗員として同行した。2009年に旅行会社に就職し、偶然にも柏陽高校を担当することができた。心待ちにしていた昨年の修学旅行先は沖繩の伊是名島でのホームステイ体験。お別れ式での生徒の涙を見てみると、こちらまで目頭が熱くなってしまう。修学旅行という夢を売る職業に携わることの醍醐味を柏陽生が教えてくれた。今、私にとって第二の青春なのかもしれない。柏陽高校を卒業したという誇りも少しずつ持てるようになってきた気がする。この誇りを大切に柏陽生をはじめ学生の皆さんに青春の夢を与え続けていきたい。

●有坂 哲雄 (35期生)

柏陽高校35期生の有坂哲雄と申します。今は化学メーカーのエンジニアとして、宇都宮にある工場に働いています。今年大学院修士課程を修了しまして、社会人生活をスタートさせたばかりです。今でも、高校から付き合いが続いている友人がいますが、それがとても嬉しいですね。ながら同じく宇都宮で働いている友人や、横浜から遊びに来てくれる友人がいるからです。初めて横浜を離れましたが横浜そして地元本郷台、柏陽高校と、とても恵まれた環境だったなと実感しているところで。今のところ横浜に住む予定は無いですが、いつか住むことになりましたらその時はまた柏陽の方々とお会いできたらと思っています。

●新倉 円 (39期生)

39期生の新倉円と申します。看護学科に進学し、大学生生活は早いものであつという間に4年が経ちました。約半年の実習と卒業研究も終わり、2月には国家試験があり、資格取得のため毎日勉強に励んでいます。春からは看護師として病院に勤務します。学生の頃とは違い、社会人として自分の行動に責任を持つことが出来るか不安ですが、自分の人生に誇りを持てるように、一歩ずつ進んでいきたいです。

在学生の皆さん、受験や就職等これから多くのことを選択しなければいけないと思いますが、やりたいことを見つけ、その目標に向かい努力を惜しむことなく頑張ってください。



緒形助正先生の退職を祝う会

日時：2011年10月22日(土)
 17時30分～20時00分
 会場：大船「チャイナダイニング 千馬」
 参加者：剣道部OB・OG 70名
 他校剣道部OB 1名
 他校剣道部顧問 5名
 記念品参加のみ 15名
 合計76名

■緒形助正 先生

東京教育大学卒業後、湘南高校を経て柏陽高校保健体育科教諭・剣道部顧問として着任し、大原高校、県立武道館などを歴任し、2011年3月退職。
 着任期間：昭和50年4月～昭和61年3月
 剣道部を男女アベックで何度も神奈川県代表として関東大会へ出場させる。
 卒業生は小学校・中学校・高校で教員をしている者も多く、特に高体連では剣道部指導でも顕著な成績を残し、中心となって活躍している。



当日は見込みよりも参加人数が多く、立食形式での開催となりました。厳しく鍛えられた恩師の節目の会ということで、遠くは北海道や京都から駆けつけた卒業生もいて青春を剣道に捧げた日々を思い出し、旧交を温める良い機会があった会となりました。会の終了後は期ごとに二次会となり、大船の町で昔話に花を咲かせたことでしょうか。これを機会にもう一度連絡体制を強化し、剣道部OB・OG会の活動も盛り上げていこうと思っています。

(文責9期 川名信義)

同期会報告

■4期生

柏陽高等学校第四期生
 大同窓会(大柏四会)のご報告

日時：2010年5月29日
 場所：新横浜
 「コート・ダジュール・ダイニング」
 ・参加人数 70名
 ・出席された先生方
 柳田先生(国語)
 仲里先生(数学)
 三橋先生(英語)
 吉井先生(体育)
 幹事会
 代表：田川新也(2組)
 その他、幹事会メンバー20名



大柏四会は4年毎(サッカーW杯開催年)に開催し、一昨年で3回目となります。
 当初は近い卒業生達の集まりでしたが、正式に同窓会に発展させようという事で2002年に第1回を開催し現在に至ります。

詳しくは柏四会ホームページをご覧ください。
www.hakuyo-ob.com (文責 安田真久)

■5期生

同期会の報告

第5期生幹事 中野 修二

日時：平成23(2011)年10月22日(土)
 13時00分から16時00分まで
 場所：「ホテルキャメロットジャパン」
 横浜市西区北幸1-11-3
 (横浜駅西口徒歩5分)

(文責9期 川名信義)

参加者数
 ・1学年及び2学年が同じクラスメイトであったので、1・2年クラスごとで参加者を募る形式とした。
 ・その結果、同期生が137人、来賓先生が11人、併せて148人が出席した。

参加者数

クラス別	参加者数
1・2年 1組	23人
" 2組	16人
" 3組	21人
" 4組	15人
" 5組	16人
" 6組	13人
" 7組	19人
" 8組	14人
同期生計	137人
来賓先生	11人
合計	148人

出席された先生方

氏名	1・2年担任	3年担任
寺崎 力 先生	学年主任	学年主任
佐藤 繁 先生	1組	8組
金城啓一 先生		
新倉善彦 先生	2組	
櫻井隆一 先生	3組	4組
小沢明夫 先生		8組
吉井和夫 先生		
藤澤一樹 先生	5組	3組
鈴木重男 先生		
小沢早苗 先生		
木村英二 先生	8組	5組

第5期生の同期会は、同期生全員が満55歳を迎えたことを契機として、初回(満50歳)に引き続き2回目の開催でした。今回の催しは、高校2年間を同じ教室で共に学び、共に語った1学年及び2学年の全8クラスごとにテーブルを囲み、旧交を温め、心豊かなひとときを過ごすことが出来ました。
 今後5年ごとの節目の年齢に開催し、同期生の絆を深めていきたいと存じます。



(写真は1組集合写真と4組懇親会風景)

■39期生

同期会報告

日時：2011年9月19日(日)
 1次会 18時00分～20時00分
 2次会 21時00分～22時30分
 場所：横浜ハセラリゾートツツ内店4F
 Green Ball
 幹事 今村一輝

■41期生

成人式後の同期会

日時：2012年1月9日(月)
 18時00分～20時00分
 場所：横浜ロイヤルパークホテル
 ・参加人数 167人
 ・幹事 羽田野風里、勝田真莉、谷口明野村慶、宮下悟

41期生は2010年3月に卒業し、お互い別々の道を歩み始めてから2年以上が経ちました。2012年1月9日に成人式を迎え、同窓会として久しぶりの再会を果たすことが出来ました。柏陽を卒業して以来という人もいて、再会した時に懐かしさとともに嬉しさもこみ上げてきました。



そこでは、大学での話などで盛り上がりました。同窓会で印象的だったのは私たちが関わった柏陽の先生からのビデオレターです。一人ひとりの先生が登場してくる度に歓声がわきました。これから忙しくなり、なかなか会うことができないと思いますが、高校3年間のかけがえのない思い出を心に留めながら仲間との再会を楽しみにしたいと思います。

(文責 中島有紀)

新役員挨拶

平成23・24年度 役員

役職	氏名	期
会長	矢部 博	4期
副会長	広岡 淳利	1期
	森村 栄一	1期
事務局長	川名 信義	9期
事務局員	安田 真久	4期
	岩佐 良宏	11期
	小玉 芳秀	20期
会計	菅原 和美	1期
	青木 昌一	4期
会計監査	久保田 剛	11期
	森本 新一	15期
顧問	堀 章一	3期

◆菅原和美 (1期生)

私にとっては、近くて遠い母校・柏陽だった。

柏樹会の会計を引き受けたことにより、昨年四月、三十数年振りに訪問した。在学中を思い出すことが出来ない程、建物は勿論、雰囲気も全く違っていた。四年後には創立五十周年を迎えるのだから、当然と言えば当然であろう。

一期生の私たちは、二〇一一年度次々と還暦を迎えた。私のように、定年がない職業や役職の人もあるが、還暦と共に定年退職という大きな岐路に立った人も多い。退職し趣味を主体にした生活を楽しんでいる人、目標を失い日々悶々と暮らしている人もいる。何れにしても人生まだまだこれから、「いのち」ますます輝かせたいですね！

会計事務に関しては素人同然ですが、皆様にご迷惑をかけないようにと思っております。よろしくお願い致します。

◆岩佐良宏 (11期生)

この度、柏樹会事務局員を仰せつかりました、11期卒業生(1980年卒)の岩佐良宏と申します。大学卒業後、神奈川県立高等学校国語科教員となり、

現在は5校目の霧が丘高等学校に勤務しております。

ちなみに柏陽高校在学中は、剣道部員でした。現任校でも、剣道部の顧問としております。高校教諭としての勤務も四半世紀を超えましたが、これまでOB会に関わった経験がほとんどありませんでしたので、どうぞよろしくお願いいたします。

◆小玉芳秀 (20期生)

20期生の小玉と申します。私は高校在学中、剣道部に所属し、中村先生、諸先輩方に3年間厳しいながらもその中に優しさのある稽古をつけていただきました。当時、修練したことは社会人となっても精神的な支柱となっておりま。現在は公園施設メーカーに勤務しながら鎌倉市の中学校で剣道部の外部指導員としており、母校の剣道部に中学生を連れてお邪魔させていただいております。その関係もあり、剣道部の先輩である川名先輩にお声掛けいただき役員のお席に加えさせていただくことになりました。今後は柏陽高校OBとして微力ながら柏樹会のお役にたてればと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

柏陽高校平成23年度の 主な行事報告

入学式

暖かな春の日差しの中、4月6日(水)に第45回入学式が挙行されました。男子172名、女子110名、計282名の新入生が高校生活をスタートさせました。

体育祭

6月22日(水)懸念されていた天候にも恵まれ、予定通り体育祭が行われました。今年から加わった新種目のパラエティクスは大変盛り上がり、各色の生徒も応援に熱が入ります。また色別対抗種目のマスコットは赤組、色別演技では青組、色別リレーでは黒組、総合優勝は青組と各色すべてが賞を取り、表彰式も大いに盛り上がり、平成23年度の体育祭は幕を閉じました。

文化祭

第29回柏陽祭
2011年10月1日(土)～2日(日)

- テーマ：Sensational Hakuyo
- ～リボンでつながる真心(おもい)～
- テーマ曲：風の向こうへ by 嵐
- 来場者数：1日目 2,133人
- 2日目 2,578人
- 合計 4,711人

今年度の文化祭は3月11日の津波で大きな被害を受けた宮城県仙台沼陽高校への寄付金と応援メッセージを募り、継続的な支援をしようというこで、校舎カラーの淡いブルーのリボンをつけて皆さんに参加してもらいました。二日間の募金総額は119,590円におよび、文化祭の売り上げとあわせて20万円を送金しました。節電も今年の大きな課題となっており、①照明を消す②ラジカセは乾電池③ホットプレートはガス④バンド関係電力は発電機で対応⑤多目的ホールの冷房OFF：などの取り組みの結果大幅な節



電を達成しました。エコへの取り組みもリユース食器の使用となつて3年目となり菜区からの補助金も上限の10万円を大きく超えて、使用後の回収率も99%以上でとても有意義な取り組みが続いています。柏陽祭も質的な向上をめざし、各クラスの企画を工夫して取り組んでおります。卒業生の皆様も是非、高校時代を思い出しに来校ください。

▽お知らせ

第30回柏陽祭
2012年
9月29日(土)～30日(日)
お待ちしております！

修学旅行

(11月7日～10日 沖縄本島・伊是名島)



「輪」～柏陽でひとつになつてつくりよう沖縄の宝～というテーマを生徒たちがきめて、修学旅行に行つてきました。初日は、沖縄本島で平和学習をうけ、戦争の悲惨さ、命のおもひ、そして生きることのありがたさを学びました。2日目から伊是名島に行き、4人ぐらゐのグループで、島の民家にショートステイしました。島の人と生活することで、文化や習慣を体験し、自然や人の温かさにつれ、あらためて家族の絆を感じたことだと思ひます。まさにテーマどおりの修学旅行でした。

卒業式

3月3日(土)に本校体育館で第43回卒業式が挙行され、279名の卒業生が母校を巣立っていきました。(卒業生累計は15,011名です)



平成23年度

部活動報告



運動部

陸上競技部

部員数

選手
2年男子12人、女子2人 計14人
1年男子12人、女子5人 計17人
マネージャー

2年1人、1年2人 計3人

活動状況

月・水・金・土はグラウンドでの練習、火はウエイトトレーニングを中心に活動中。

試合成績

- ・県高校総体 男子800m 8位
- ・県高校新人 男子5000m 競歩 4位、男子走高跳 7位、女子400m H 8位、女子7種競技 7位
- ・日本ジュニア選抜競歩大会（兵庫・神戸）男子ジュニア10km 競歩 全国出場
- ・第23回ジュニア選抜競歩大会 期日 平成24年2月19日（日） 場所 六甲アイランド甲南大学周辺 コース（日本陸連公認コース）

ラグビー部

部員数

選手
3年9人、2年7人、1年11人
マネージャー

3年1人、2年2人、1年1人

活動状況

火・水・金はグラウンドでの練習、月・木はウエイトトレーニングを中心に活動しています。昨年の秋に3年生が引退し、人数が少なくなり大変ですが、声がグラウンドに響きわたるくらいに元気よく、毎日頑張っています。

試合成績

新チームとなった新人大会では1回戦敗退と結果は悔いませんでしたが、県ベスト8以上の結果を出すことを目標に寸暇を惜しんで日々練習に励んでいます。

野球部

部員数

1年生15名、2年生9名
（内マネージャー2名）

試合成績

- ・平成22年夏 神奈川県大会 4回戦（対 横浜商大）
 - ・平成23年夏 神奈川県大会 3回戦（対 東海大相模）
- 文武両道を意識しながら、甲子園大会へ出場するために、グラウンドで目一杯に声を出して、一生懸命に練習しています。

テニス部

部員数

男子・3年12人、2年10人、1年19人
女子・3年6人、2年7人、1年9人

試合成績

平成22年度新人戦において、女子テニス部が、選団体戦ベスト16、同年度の関東予選団体もベスト16に残りました。平成23年度の大会では、男女ともに1回戦敗退となりました。平成24年現在は、横浜ジュニア大会が行われており、男子シングルスでベスト16まで残っている生

徒がいます。人数も多く活気のある部活を目指し日々頑張っており取り組んでいます。

ソフトテニス部

部員数 男子15名、女子6名

活動状況

ソフトテニス部は、水曜日を除く毎日、練習に汗を流しています。O Bの熱心な指導を得て、各役員それぞれ切磋琢磨を続けています。

主な試合成績

横浜地区大会・男子Aブロック（高橋・真方組）3位、伊藤・山本組5位。同（女子B-2ブロック）渋澤・徳野組準優勝。

サッカー部

2011年度は、3年生部員14名、マネージャー1名、2年生部員20名、マネージャー2名、1年生部員20名、合計57名の大会所帯のスタートとなりました。

ハイ・選手権予選は残念ながら1回戦負けでしたが、高田宮杯神奈川県U-18サッカーリーグ大会は、Hリーグ7勝1敗で1位となり2012年度は念願のK2昇格となりました。また新人戦地区予選は3勝1敗で惜しくも2位となりましたが、4月の関東2次予選の出場資格は



得ることができました。2012年暮明けは、冬季横浜地区大会で、プロック優勝しました。

男子バレーボール部

部員数 3年生3人、2年生5人、1年生2人

試合成績

- ・平成23年度関東大会県大会出場 ベスト32
- ・平成23年度新人大会県大会出場 人数は少ないですが、県大会上位進出を目指して活動しています。

女子バレーボール部

部員数 3年生2人、1年生6人

活動状況

昨年度までは人数が足りず、県立横浜翠嵐高校と合同チームで活動してきました。今年度は1年生が6人入部してくれましたが、故障中の部員がいるため、清陵総合・水取沢高校と合同チームを組んで活動しています。

水泳部

部員数

男子 3年9名、2年7名、1年11名 計27名
女子 3年2名、2年5名、1年2名 計9名 合計36名

活動状況

- プール開き 5月7日（土）
 - 合宿 7月18日（月祝）〜21日（木） 3泊4日 長野県飯島町
 - プール仕舞い 10月4日（火）
- オンラインズンはプールにて練習、オフシーズンは筋トレやランニングにて基礎体力錬成。
- 平成23年度の大会入賞記録
- ・横浜市民水泳大会 (f 200mメドレーリレー15位、f 50m背泳ぎ 荒木1位、渡辺7位)
 - ・県高等学校水泳大会 (f 50m背泳ぎ 荒木9位)
 - ・横浜地区高校水泳大会 (f 50m平泳ぎ 赤石7位、100m平泳ぎ 赤石7位、f 50m背泳ぎ 荒木1位、渡辺10位)

剣道部

部員数

3年男子3名・女子1名、2年男子4名・女子1名、1年男子2名・女子3名、合計13名

文武両道を旗印に、少数精鋭で活動しています。

夏の合宿は柏陽高校剣道部出身の顧問校（鎌倉 大船・霧が丘）と合同で長野県立科高原にて4泊5日で開催されています。冬の寒稽古はつらいですが、「打倒！顧問の川名先生」を旗印に一致団結して全員が皆勤して最後までやり遂げています。

稽古だけでなく夏のBBQ大会や年末の竹刀供養での焼き芋、新年の餅つき、豚汁などイベントも盛りだくさん計画されていて、いろいろな意味で充実しています。

2011年では男子が県新人戦で久しぶりの3回戦を突破し、ベスト32を達成しました。来春の関東大会予選では更に上位進出をめざして頑張ります。女子は残念ながらメンバーが足りず、剣道経験者の助手をお願いしながらの出場ですので、まずは部員でのフル出場が目標です。

ソフトボール部

部員数 8名

試合成績

関東大会横浜地区予選、横浜市民大会、秋季新人ソフトボール神奈川県予選

活動状況

今は部員数8名で頑張っています。そのため白鷗女子高校との合同チームとして日々練習しています。ほとんどの部員が初心者ですが、週5〜6日一生懸命に活動しています。

バスケットボール部

平成23年度インターハイ予選会以降、新たなチームに代替わりしました。男子は2年8名、1年6名、女子は2年5名、1年3名、マネージャー2名の計24名で楽しく活動しています。平成23年度新人戦大会において、男子は惜しくも県大会出場を逃しましたが、

女子は少人数ながら県大会に出場し、1回戦で勝利を収めました。文武両道の実践を目標に日々頑張っています。

卓球部

部員数 3年生8(女子2)人、2年生13(女子1)人、1年生8(女子2)人 合計29名

試合成績

- 平成23年度関東大会県大会出場
男女団体男子W1組・女子W1組
男女S各2名
平成23年度高校総体県大会出場
男女団体・男子W1組・男女S各2名
女子W1組(和歌山/石田組ベスト32)
平成23年度西湘オープン卓球大会
男子団体A ベスト16
平成23年度新人大会県大会出場
男子団体・男子W4組・女子W1組
男子S5名 女子S3名

活動状況

卓球場が窮屈に感じるほど部員は多く、試合のない日曜日以外はほぼ毎日練習しており充実した活動を続けています。男子は県大会でベスト16以上を狙っていますが、女子は3年生が引退してから団体戦には出場できていません。団体戦に出場するために新入生の女子が入部してくれ

バドミントン部

部員22名。毎日、切磋琢磨しレベルアップをはかっています。高校から始める初心者も多く、レギュラーとなり試合に出場している者も少なくありません。最初はなかなかシャトルにラケットが当たりません。人間は水平の距離感をつかめても高さの距離感をつかむ事は苦手です。しかし、シャトルに慣れいつのまにか時速200km以上のスマッシュを打つようになっていきます。白いシャトルを追いながら汗を流しています。夏休みの暑い中、練習を乗り越えてきた部員たちは体力・気力・技術も十分です。お互いに相手を気遣

い励ましあい頑張っています。日頃は、おとなしい部員ですがひとたび体育館に入れば、熱気あふれる掛け声の中、シャトルを追う姿はカッコいいですね。また、OG・OBのみならずバドミントン大好きな仲間も交えて現役の指導をもらっています。また、1年生男子は、地区の強化選手に選ばれ2月の県強化練習会に参加する予定です。

試合成績

- 2011年度
4月関東大会地区予選
(男子団体・原澤・原・藤嶋・一ノ口・秋友・井ノ口・平野) 3位通過
県大会ベスト16
(女子団体・吉田・兼平・八木下・小須田・田中・山本・若林) 8位通過
県大会出場
5月インターハイ地区予選
(男子シングル) 原・5位通過
県大会ベスト32
(男子ダブルス) 原・藤嶋・3位通過
県大会ベスト16
(男子団体・原澤・原・藤嶋・一ノ口・秋友・野田・田部井) 県大会ベスト16
8月横浜市夏季バドミントン大会
(男子団体・秋友・芹沢・細谷・南本・井上・田部井) 第3位
9月新人戦地区予選
(男子団体・秋友・芹沢・細谷・南本・井上・田部井) 3位通過
県大会ベスト32
(男子ダブルス) 秋友・田部井・4位通過
県大会出場
1月横浜市冬季バドミントン大会
(女子シングル) Bブロック
田中 第3位
Cブロック・山本 準優勝。

ハンドボール部

部員数 (男子) 3年14名、2年9名、1年10名 (女子マネージャー) 3年1名、2年1名、1年2名
活動状況 部員数も多くなり、楽しく厳しく

練習に励んでいます。

試合成績

2011年5月の総体県予選ではベスト22となり、決勝トーナメント進出まであと一步に迫る大躍進でした。3年生引退後の新チームでもよく練習し、実力もあり、公式戦での活躍が期待されています。

山岳部

部員数 15名
活動状況

今、山岳部は部員数15名で頑張っています。毎月1〜2回の山行と夏合宿がここ数年の活動です。今年の夏は甲斐駒ヶ岳、仙丈ヶ岳に行きました。アウトドア派、自然観察の好きな生徒にとって充実した部活動になっています。

文化部

合唱部

部員数 1年4名、2年生10名
活動状況

新入生歓迎コンサート、サマーコンサート、文化祭、学校説明会、クリスマスコンサート、合唱祭など、年に6回の発表を行っています。近年では、地域の施設でコンサートをしたり、発声法・指揮法講習会に参加したりと、活動の幅を広げています。また、現在他校との合同合唱も企画中です。

理科部

現在22名、火曜日を除く月〜金曜日に活動しています。私たちの部は、JSTの理科部活動振興事業に採択されたため、今年度から3年間、豊富な資金で活動することができます。今年度の活動は理科部室前の掲示板で紹介していますのでぜひ見て下さい。

数学部

部員は2年生4名、1年生1名で楽しく活動しています。

活動日は月曜日から金曜日です。活動内容はPCを使ったプログラミング、数学の証明問題の考察などです。文化祭での展示発表もしました。

美術部

部員は3年生3人、1年生4人です(すべて女子)。

3年生が引退した後、1年生1人で活動しておりましたが、3人入部してくれました。油彩画を中心に創作しています。毎年、文化祭には美術室としての最大の目標は11月に行われる県高校美術展に出展し、入賞することです。

文芸部

1年7名、2年11名、3年5名で活動しています。部誌「漂標」を年3回発行しています。文化祭では校外の方にも部誌を読んでもらっています。

吹奏楽部

2011年度部員数 1年生42人 2年生47人
活動状況

活動は週6日(火曜日自主練) 休日練の休みは月2〜4程度
7月 横浜吹奏楽コンクール
・A編成 銀賞
・横濱編成 優秀賞
8月 ジョイントコンサート
(鎌倉芸術館)
12月 クリスマスコンサート
(校内体育館)
3月 定期演奏会(鎌倉芸術館)
その他学校行事や地域のイベントで演奏

写真部

部員数 3名
活動状況

少人数ですが、文化祭では、なんとが共同作品と個人作品の両方を展示することができました。それ以降、まだ作品を更新できていませんが、できたら今年度中に、東北のボランティア活動を記録した写真を展示したいと思っています。

茶道部

現在茶道部は17人で活動しています。普段のお稽古の他、今年は夏休みには夏季研修会として東京国立博物館の庭園茶室を見学しました。文化祭ではお抹茶、校章の焼き印入りお饅頭をお出ししました。また、昨年も11月に様々な流派が一堂に集まる高校生茶会に席持ちとして参加し、3年連続で高文連から賞をいただきました。

英語部

2011年度部員数 2年生4人
活動状況

活動は週1〜2日
ALTの先生とランチ・ミーティングをしたり、音声教材などを活用したりして活動しています。

書道部

部員数 5名
活動状況

今、書道部は部員数5名で頑張っています。毎週火曜日に定期的に書道室で各生徒が自分のテーマで技術向上の努力をしています。個々のレベルがとて高いので、今後のコンクール等の参加が楽しみです。

クラシックギター部

現在部員は2年生4人です。人数は少ないですが、確実に練習をこなし高い技術を身につけています。文化祭の発表以外に数回のミニコンサートを開催し、アンサンブルを中心に行っています。

デザインワーク部

現在1年生は男子4人、女子6人、2年生は3人の計13人で活動しています。毎週水曜日に美術室で年に5回(4月、7月、10月、12月、2月)発行している部誌に掲載する作品を制作しています。部員は仲良く和気あいあいとした中で活動しています。

平成22～23年度 事業報告

- 平成22年度
 - 4月 1年生 理科教材(元素周期表)寄贈 柏樹会総会開催
 - 5月 進路説明会 講師(卒業生)交通費補助
 - 10月 文化祭補助
 - 3月 3年生 卒業式コサージュ(胸飾り)(生花)寄贈
- 平成23年度
 - 4月 1年生 理科教材(元素周期表)寄贈 柏樹会総会開催
 - 5月 進路説明会 講師(卒業生)交通費補助
 - 6月 柏樹会HPの変更
 - 10月 文化祭補助
 - 2月 陸上部全国大会 懸垂幕作成&全国大会出場祝い金
 - 3月 3年生 卒業式コサージュ(胸飾り)(生花)寄贈
 - 1年生 「科学と文化」発表会 優秀賞補助

平成24年度 事業計画

- 4月 新入生 入学式コサージュ(胸飾り)(生花)寄贈
- 1年生 理科教材(元素周期表)寄贈 柏樹会総会開催
- 5月 進路説明会 講師(卒業生)交通費補助
- 10月 文化祭補助
- 3月 3年生 卒業式コサージュ(胸飾り)(生花)寄贈
- 1年生 「科学と文化」発表会 優秀賞補助
- その他
 - 部活動補助 関東大会・全国大会出場祝い金
 - 同期会補助(ただし、1回限り)
 - 柏樹会ホームページの充実
 - 柏樹会報No.4発行準備
 - 柏樹会名簿発行準備
 - 50周年記念事業準備

母校からのお知らせ

- 1 来校時の手続き
来校された際には事務室に名簿がありますので、記名していただき入校許可証を着用してください。車で来校された場合には、同様に事務室で記名後、駐車許可証をフロントガラスにおいてください。
- 2 教育実習について
実習は10月頃に実施しています。希望する卒業生は前年の4月中に柏陽高校教育実習担当教諭へ申し込みください。人数が多い場合には抽選となります。

事務局からのお知らせ

- 1 総会のご案内
平成24年の柏樹会総会は4月21日(土)16時30分から柏陽高校にて開催されます。
- 2 異動の連絡について
住所変更等の異動がございましたら、事務局まで郵便でお知らせください。間違ひ防止のためご協力をお願いします。

〒247-0004 横浜市栄区柏陽1-1
県立柏陽高校内 柏樹会事務局

柏樹会会計報告

2009(平成21)年度一般会計報告

平成21年4月1日から平成22年3月31日 (単位:円)

収入の部		
科目	金額	摘要
前年度繰越金	3,830,610	
41期生会費収入	830,475	277名×3,000円(除:振込み手数料)
会報協力金	7,000	
受取利息	1,225	
合計	4,669,310	
支出の部		
科目	金額	摘要
HP維持費	15,120	KDDI
母校寄付金	288,257	進路、文化祭、コサージュ、元素表、垂幕他
通信費	5,752	切手、振込料
事務費	16,277	印鑑、封筒、紙
合計	325,406	
次年度繰越金	4,343,904	

2009(平成21)年度特別会計報告

平成21年4月1日から平成22年3月31日 (単位:円)

収入の部		
科目	金額	摘要
前年度繰越金	2,524,667	
預金利息	5,050	
合計	2,529,717	
支出の部		
科目	金額	摘要
	0	
合計	0	
次年度繰越金	2,529,717	

2010(平成22)年度一般会計報告

平成22年4月1日から平成23年3月31日 (単位:円)

収入の部		
科目	金額	摘要
前年度繰越金	4,343,904	
42期生会費収入	833,475	278人×3,000円(除:振込み手数料)
寄付金	6,000	(7期生 安田俊英様より)
会報協力金	555,000	(除:印刷・発送費)
預金利息	539	
合計	5,738,918	
支出の部		
科目	金額	摘要
HP維持費	124,983	HP委託料、KDDI他
母校寄付金	117,645	進路、文化祭、コサージュ、科学と文化
通信費	2,135	切手、振込料
慶弔費	15,750	42期生 葬儀生花
特別会計繰入金支出	3,000,000	
合計	3,260,513	
次年度繰越金	2,478,405	

2010(平成22)年度特別会計報告

平成22年4月1日から平成23年3月31日 (単位:円)

収入の部		
科目	金額	摘要
前年度繰越金	2,529,717	
一般会計より繰入	3,000,000	
預金利息	1,417	
合計	5,531,134	
支出の部		
科目	金額	摘要
	0	
合計	0	
次年度繰越金	5,531,134	

- 3 個人情報の取り扱いについて
クラス会や同期会の幹事宛に「出席できないけれど、名簿が欲しい」などと言う連絡があったときは必ず、本人確認を行ってください。悪徳名簿業者があらゆる手を使って名簿を手に入れようとしています。身分を証明する書類(保険証など)も偽造しているという事例もありますのでご注意ください。
- 4 振り込み詐欺について
警察からも注意喚起されていますが、振り込み詐欺も同窓会関連の事例で多数おきます。少しでも怪しいと思ったら確認してから行うようにしてください。
- 5 個人情報の取り扱いについて
柏樹会では会員名簿や会報の作成・発送は(株)サラトと委託契約を結び、正式に委託しています。
(株)サラトは、個人情報について適切な保護措置を講ずる体制が整っていると認定され、経済産業省の外郭団体である(財)日本情報処理開発協会から「プライバシーマーク」を取得している会社です。

人材バンク登録について

柏陽高校ではキャリア教育の一環として、社会で活躍する先輩方の話を聞く機会をつくる企画を進めています。県内の多くの学校では卒業生が現役生徒に対して幅広い分野で後援会や講義、出前授業など多彩な活動を行っています。柏樹会でも現役生徒に向けてさまざまなサポートを充実していきたいと考えていますので、会員の皆様のご協力(人材バンク登録)をお願いします。

柏樹会事務局 川名信義
県立柏陽高校 1F 045(892)2105

お知らせ

柏樹会のホームページが
リニューアルしました。
<http://hakujyu-kai.jp/>

平成25年3月
同窓会名簿発行

